

平成27年度霧ヶ峰における電気柵等の設置（案）について

1 設置

霧ヶ峰においてニッコウキスゲなどの高山植物をニホンジカから守るため、霧ヶ峰自然環境保全協議会構成団体において次のとおり電気柵等を設置します。

設置場所	設置時期 (予定)	概要	実施主体等
① インターチェンジ前園地	平成27年5月上旬	電気柵 約2.0km	下桑原牧野農業協同組合
② 忘れじの丘	平成27年5月上旬	電気柵 約0.6km	下桑原牧野農業協同組合
③ 車山地区	平成27年5月中下旬	電気柵 約4.6km	車山高原観光協会
④ 車山肩地区	平成27年5月中旬 平成27年6月上旬	防護ネット 約0.46km 電気柵 約1.5km 電気柵 約0.5km	霧ヶ峰自然環境保全協議会 電気柵のうち0.4kmは丈の低い二重電気柵 個別作業ササ刈地区に新設
⑤ 富士見台西側	平成27年5月中旬	電気柵 約0.8km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
⑥ 八島ヶ原湿原	常設	鋼鉄柵 約4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約10.0km ネット 約0.46km 鋼鉄柵 約4.0km 計 約14.46km	平成27年度から0.5km増

2 平成26年度の効果

- (1) 車山肩地区において設置延長を西側に0.2km延長し設置したところ、ニッコウキスゲ等が開花し、食害を受けていた箇所での回復が見られた。一部丈の低い二重柵も継続して設置したが、柵の中のニッコウキスゲは、ニホンジカの食害に合わず開花した。
- (2) 八島ヶ原湿原に設置したシカ柵内のニホンシカの侵入形跡は、平成26年度中1頭確認されたが、それ以外の侵入は確認されなかったため、被害防止効果は継続していると思われる。

3 課題

ニホンジカの個体数が一定程度減少するまでは、継続して電気柵等を設置し、範囲を拡大する必要があるが、資材費の確保及び設置・メンテナンス等にかかる労働力の確保が難しい。

八島ヶ原湿原の鋼鉄柵が冬季積雪により損傷を受けており、継続的なメンテナンスの方法を検討する必要がある。

